



Subaru

昇卵 男声合唱団

ニュース No.284

'11. 02. 01

立春だ！数入だ！！
八軒家浜の対岸、天満青物市場跡には二つの歌碑がある。一つは淀川三十石舟唄（写真左奥）、いま一つは天満の子守歌」



「天満にも奉公娘子守歌」

昇卵やんこの写真遊び

箱根八里ほかをレッスンしました... 1月25日(火)...

□ 1月25(火)は、奥村さんの体操にはじまり、本並先生のヴォイストレーニングと指揮、静さんのピアノで、「箱根八里」、「南京玉簾」と、「しあわせは空のうえに」をレッスンしました。出席者は23名でした。

□ レッスン一口メモ

▼ 「箱根八里」本並先生から資料をあずかっていますので次ページに紹介します。

▼ 「しあわせは空のうえに」；もう、仕上げの段階です。暗譜で指揮をよく見て。

還らぬ若人ほかをレッスンしました... 1月30日(日)...

□ 1月30(日)は、岡邑さんの体操、檀先生のヴォイストレーニングにはじまり、本並先生の指揮、静さんのピアノで、「還らぬ若人」、「シルクロード」、「埴生の宿」、「しあわせは空のうえに」、「なぜ」と、「ねがい」をレッスンしました。出席者は26名でした。

□ レッスン一口メモ

「還らぬ若人」・・・映像化、視覚化しつつ想いを・・・

▼ 作詞者であるTERRAの村嶋由紀子さんが来場され、「還らぬ若人」男声版ほかを聴いていただきました。感想、アドバイスを頂きましたが、その要約。

①混声では送る側の女たちの想いの広がり表現されるが、男声は出征した男たちの側の想いに集中されより深まった演奏になることが期待できる。



②まだレッスンの初期ではあるが、色合いのいいものが感じられた。

③出征兵士のモノクロの一枚の写真や、二度と帰れぬこととなってはじめて尊い思い出となった最後に見た故郷のなにげない景色、北へ爆走する汽車の窓からの白黒の雪景色などそれぞれ、出征兵士側の目で映像化しつつ表現を深めていただきたい。

④「若き友よ…」失った戦友・若き芸術の友に、生き残ってしまった兵士である自分が、限りない哀惜と愛の想いを込めて呼びかける。

⑤シベリアや満州の雪深いなかに倒れ息絶えた友の、いつでも「絵を描きたい、描きたい」と思い続けていたいまわのきわに、白い雪のキャンパスに描いた絵画は何であったか。深い想いを込めて。

⑥ひとつの物語となっているのを、視覚的にもとらえて、生き残って伝えていく側の想いを込めて。

⑦各パート団結して、男声合唱ならではの演奏となるよう頑張ってください。

箱根八里

明治34年(1901) 作詞：鳥居 忱(まこと) 作曲：滝 廉太郎(1879~1903 結核のため23歳で夭折)

1. 天下の嶮(険しいところ、けわしいところ)

函谷関(長安の都を守るため険しい谷合に設けた関所)

後に支ふ(千仞の谷が枝分かれするさま。ほかに、後ろに支える、後ろを邪魔するなどの解釈もある)

羊腸の小径(羊の腸のようにくねくね長い小道)

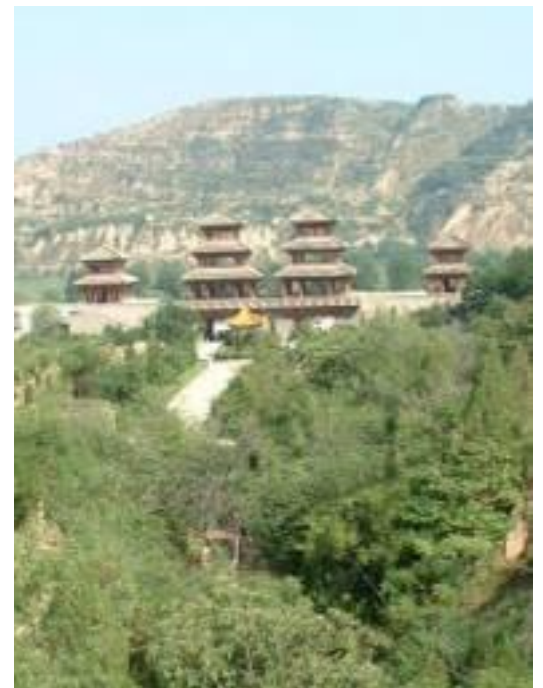
一夫関に当るや萬夫も開くなし(一人で守れる難攻不落の関所、李白の漢詩「蜀道難」の一節：

「一夫当関 萬夫莫開」をそのまま織り込んだ。)

2. 天下の阻(険しい地形、険阻な道)

蜀の栈道(古来、関中〈西安がある中原〉と漢中・巴〈今の重慶〉・蜀〈今の成都〉を結ぶものは一本の栈道であった。巴・蜀・漢中は関中の遙か西方に位置し、切り立った山々や断崖絶壁で埋め尽くされ、滅多なことでは人も寄りつかない僻地中の僻地であり、その地に踏み入れるには断崖に掛けた栈道を通る、長さ235kmにも及ぶ一本道しか無かった。この栈道は「項羽と劉邦」や「三国志」など中国の歴史の重要な舞台装置として登場する難所である。)

広元郊外名月峽にある復元された名月古栈道



復元された「函谷関」

「箱根八里」とは、小田原箱根口から芦ノ湖畔までの上り四里、三島までの下り四里を合わせてそう呼ぶようで、東海道の中でも箱根越は苦難の道であったようである。

この歌は、明治三十四年に「中学唱歌」に掲載されたが、当時東京音楽学校が行っていた懸賞募集の入選作品。

作曲課題作として歌詞を公表して曲を募集したが、あまりにも曲付けしにくい詩に、多くの作曲家が尻込みする中、滝廉太郎は三連符を使うという当時は新しい手法などを使って、歯切れよく勇壮な曲に仕上げた。